

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年5月11日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103839号
法人名	中江報徳園
事業所名	グループホーム サンひまわり
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷1丁目44-11 (電話) 099-218-2045.2047
自己評価作成日	平成23年3月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①サンひまわりは、交通の便もよく、近くには小学校と県立短大もあり静かな環境に立地し、地域の一員として住みやすい場所にあります。

②公民館活動や学校行事にも積極的に参加し、地域住民と子ども達との交流を図っています。

③常勤の看護師を配置し24時間医療連携体制がとれ、健康面で安心して施設生活を送られています。

④入居者の尊厳をきちんと守り、その人らしい暮らしができるように、法人全体で職員の質向上に向けて努力しています。

⑤サンひまわり独自の基本理念「ぬくもり、あんしん、確かな、おもてなし」を掲げ、寄り添うケアを実践しています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年3月18日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市北部の住宅街に位置し、近隣は商店街や学校、病院など社会資源に恵まれて利便性に富んでいる。地域の一員としての交流も幅広く、公民館活動の一つ、ゴキブリ団子作りに利用者と共に参加したり、小学校の運動会見学や体験学習の受け入れ、校区の文化祭への作品出展など、利用者も地域の一員として積極的に交流している。また、おはら祭りの際はホーム前でも地元の踊り連が踊りを披露してくれ、利用者もお祭り気分を楽しんでいる。地域貢献にも一役かっており、近隣の一人暮らしの高齢者の安否確認や体調不良による相談などもあり、地域との関わりが密である。

法人は他にも居宅介護、訪問介護、通所介護、福祉施設などがあり、高齢者福祉の一端を担っている。また、職員育成にも力を入れており、ほとんどの職員が有資格者であるがレベルアップに向けた新資格取得の支援も行っている。常勤の看護師の配置や介護福祉士も多く、職員体制が良い。離職が少なく、職員間のコミュニケーションが図られ、質の高いサービスが提供されている。災害対策にも力を入れており、毎月あらゆる場面を想定した防災訓練を行って、非常時に備えている。繰り返し行う訓練は夜勤者の不安軽減にもつながっている。

開設して7年目になるサンひまわりは、地域密着型サービスとして更なる取り組みが期待されるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の「智恩報徳」を基本理念の下、サンひまわり独自の理念「ぬくもり・あんしん・確かなおもてなし」を掲げ、職員は寄り添うケアに向けて取り組んでいる。	開設当初に法人の理念とは別にグループホーム独自の理念を作成している。覚えやすく、分かりやすい理念のため、改めて日々唱和することはないが、分科会などで確認することはある。職員は日々、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。また、理念はパンフレットにも明記して、玄関と事務所に掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は栄門町内会の一員として位置づけ、公民館活動や小学校の行事に参加し積極的に交流している。	小学生の体験学習の受け入れをされており、お礼に小学校から招待があったり、子どもたちが手紙を持って遊びに来るなど地域の子供達との交流がある。公民館活動の一つとしてゴキブリ団子作りに利用者も参加して交流を深めている。また、校区の文化祭にホームで作成した作品を出展し見学に訪れるなど、地域の一員としての交流に積極的に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の町内会代表や民生委員、地域包括センター職員も参加する運営推進会議を通じて意見交換を行い実践した情報提供を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催し、入居者の現状報告を行い、意見交換し改善を図っている。又、防災に関しては消防署長も参加し利用者が安心した生活が送れるように指導を頂いている。	町内会副会長、地域代表者、民生委員、利用者、家族、職員、行政などの参加を得て2か月に1回開催している。ときには、消防署員の参加もあり、防災についての話し合いが行われている。また、ヒヤリハット事例や感染症についての話し合いも行われている。	

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市高齢者福祉課や介護保険課主催の会議等には積極的に参加する体制を整え情報収集に努めている。</p>	<p>日頃から連携を図り、協力関係を築くように努めている。また、介護相談員の受け入れもしている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>重要事項の第12条に「身体拘束の禁止」事項を掲載し職員全員が共通の認識で理解し対応している。玄関の施錠についてはセンサーを活用し、昼間は開錠している。</p>	<p>法人の研修とホーム内研修を定期的に行って、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。見守りが必要な利用者もいるが職員間の連携で日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。出かける利用者には職員がさりげなく着いて行き見守っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>グループホーム内で「虐待」の勉強会を年間行事として計画し日常生活面で虐待が行われないように努めている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>高齢者権利擁護等の推進事業の研修に参加し利用者のその人らしい日々の生活と暮らしを継続できるようにしている。</p>			

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に管理者が契約書、重要事項説明書等の説明と利用料金、加算、看取りについてきちんと説明し同意を得ている。改正等については文書にて同意を頂くようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置し気軽に相談できる体制とアンケートを実施し家族の意見や要望を運営に反映できるようにしている。又、市の相談員による利用者との面談による聞き取り調査もケアに生かしている。	毎年、家族に無記名の満足度調査を実施して、意見・要望を引き出す工夫をしている。アンケートの結果については家族に報告して運営に反映させている。また、面会時に家族から意見、要望を聞き出すようにしている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、分科会を開催し職員からの意見や提案事項は在宅部門の責任者会議と法人運営部と各部署長が参加するNAM会議で提案し反映できるようにしている。	朝夕の申し送り時や毎月の分科会で職員は積極的に意見や提案を出している。出された意見・提案については可能な限り反映できるように法人で話し合われている。利用者については事前に職員に情報を提供して意見を聞いている。法人は、資格取得についての支援も行っており、職員育成に力を入れている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回、人事評価制度とキャリアパスを活用して評価し能力に応じた人事育成に取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	園内外の研修に積極的に参加の機会を与え、知識・技術の習得に努めている。22年度は介護人材定着マネジメント支援事業にも参加して頂いている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	県、市のグループホーム協議会の研修に参加し交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に自宅や病院などを訪問し本人、家族と面会、本人の困っている事や生活歴、病状、心身状態を把握し本人が安心できるように信頼関係を築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所相談時はこれまでの経緯を聴き、家族の苦労などを受けとめ信頼関係が図れるようにしている。又、施設での生活に対する要望も聴いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に本人、家族の生活状況や要望を細かく聴き、入居までの間について、SW、ケアマネジャー、地域包括センターとの連携が図れるようにきちんと説明している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者が家族の一員として捉え、日常生活を通じて本人の能力に応じて野菜の下ごしらえや洗濯たたみ等できる所を助長し一緒に行動を共にしている。		

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に面会できるように支援し毎月、ひまわり便りを送り近況報告と受診同行や外食、墓参り外泊等で家族との絆を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や知人、友人の面会時はゆっくり談話できる居室を提供したり、入居前から利用されている美容院に行けるようにしている。又、墓参りも家族と一緒にに行けるようにしている。	友人・知人が訪れやすいように配慮している。また、携帯で家族と話をする利用者もいる。入居前からのお稽古ごとを継続できるように支援しており、利用者の生きがいとなっている。今年度は利用者の生まれ故郷や思い出の場所を訪ねる「ふるさと訪問」を検討している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレク等を通じて本人の個性や能力、性格を見極め仲間作りや集団生活が楽しく過ごせるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時に心身状態の変化に伴うサービス利用等の説明をきちんと行い、いつでも家族の相談を受ける体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日接し、本人の思いや要望を聞き本人のニーズに答えられるように職員間で連携を図っている。困難な場合は家族の協力も頂くように努めている。	職員は寄り添うケアに取り組んでおり、常に会話をして、思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから汲み取り本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から在宅生活や利用の経過等の情報提供でその人らしい生活が送れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活リズムに合わせて集団生活の一員として生活できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の心身状態に合わせて、定期的に見直しを行い日常生活動作面が低下しないように本人、家族も含め全員で介護計画に反映している。	本人、家族の要望により、楽しみのある生活を目標に掲げ、毎週の書道教室や行きつけの美容室の利用など継続できるように個別の介護計画を作成している。また、日々の職員からの気付きや状態変化などは個別ごとのケースに記録して見直しに活かしている。	



鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別毎のケースに日々の細やかな観察や食事、排泄、水分量を記録し、いつでも職員全員が確認できるようにしている。職員の気づきや状態変化は介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の状況に応じて、病院受診等ができない場合は柔軟に対応できるようにしている。又、入居待機者に対しショートステイの利用も検討している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域生活できるように派出所、消防署、民生委員との連携がとれている。園内行事にもボランティアの受入を積極的に行っている。地域の小学校との交流もある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望する医療が受けられるように支援している。基本的には家族同行になっているが不可能な場合は看護師が代行している。又、歯科往診も受け入れている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。家族が連れていく際はホームでの状況がわかるように情報提供表を持たせている。ホームに看護師もおり、状況に応じて看護師が直接主治医に再確認したり、受診同行することもある。	

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し利用者の健康状態や状態変化に対応できる体制ができています。介護職員は特変時、看護師へ報告し指示を受けられるように連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は看護師が情報提供を行い連携を図っている。入院中の状態把握に努め早期に退院できるように主治医、SWとの情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時の契約時、看取りに関する方針を定め説明している。週末期には家族、医師、看護師、管理者も交え家族に不安を与えないように話し合いを行っている。</p>	<p>入居時に看取りについてのホームの指針を説明し同意書を得ている。また、急変時及び状態悪化時の対応についての文書を作成して家族の意向を記入してもらっている。状態変化に伴って、再度家族とは確認のための話し合いを行い、本人にとって最良の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>普段から利用者の急変に備えマニュアルに沿って勉強会を実施し救急手当ができるようにしている。新入職員は蘇生法の実技に参加している。</p>		

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月、自主防災訓練を実施し早期避難活動できるようにしている。年2回は消防署も参加し指導を頂いている。隣接する住民にも連絡し協力頂いている。</p>	<p>年2回夜間想定と実際の夜間帯に避難訓練を行っている。職員は交代で夜勤者となって現実的な避難訓練を行っている。また、あらゆる場面を想定したホーム内自主訓練も毎月行い、夜勤者の不安軽減にもつながっている。地域と法人の協力体制は話し合われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	朝夕の申し送り時や接遇の勉強会を開催しプライバシー保護が保てるように職員の意識向上を図っている。月1回は身だしなみチェックも実施している。	声かけなど配慮しながら対応している。定期的に法人とホーム内で接遇やプライバシーについての勉強会を行っている。家族向けのアンケートにも職員の接遇についての項目もあり、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から利用者のペースに合わせた声かけを行い、意思表示できない場合は本人が納得できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、日中、就寝等、本人のペースで過ごせるように柔軟に対応している。天気の良い日は屋外散歩もできるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類の更衣は基本的に本人の意思決定で支援している。できない方は職員と一緒に選択して頂いている。個人的に美容院利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや片づけも一緒に楽しみながら食事ができるように雰囲気づくりに努めている。家庭菜園でできた旬の野菜も食材になっている。	台拭き、片づけ、調理下ごしらえ、盛り付けなど個々の力量に応じて職員と共に行っている。梅干し作りや酔めしの味加減などアドバイスをもらうこともある。家庭菜園の苗植えや草取りなど共に行って収穫を楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指示の下作成したバランスのとれた食事を嗜好に配慮し提供している。食事、水分の摂取量を随時記録し状態把握を行いその人に沿った支援ができています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声かけや一部介助を行い口腔衛生に努めている。就寝時は義歯の洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄パターンを把握しトイレ誘導し清潔が保てるように支援している。尿意のない利用者にも時間誘導に努めている。	個別に排せつ、水分摂取量を記録して健康管理を行っている。夜間はおむつやポータブルトイレを使用している利用者もいるが、日中は基本的にはトイレ誘導でトイレでの排せつを支援している。入院していた利用者にもこまめな声かけ誘導で少しずつではあるが自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便確認と食事や水分摂取量のチェックを行い状態観察を行っている。又、主治医の指示で下剤服用もある。他体操等も行い排便コントロールにつなげている。		

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回入浴を実施し本人の入浴スタイルに合わせて清潔が保てるように支援している。	個々の生活スタイルに合わせた時間帯の入浴支援や希望があれば毎日の入浴も可能である。ときには、法人の施設で温泉気分を味わってもらうこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転や不眠にならないように規則正しい生活リズムになるように行っている。本人の体調に合わせて休息を取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬分遣ファイルを作成し処方箋については、職員はいつでも確認できるようになっている。薬の管理は看護師が行い症状の変化は常時、連携が図れている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	時期的な梅干し作りにも参加して頂き、できた時は食事に出している。又、地域行事にも参加され交流ができています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や本人の体調に合わせて、近くの短大等へ散歩ができるように支援している。家族の都合に合わせて外食や墓参り等に出かけられている。	隣接する短大は散歩に最適で、敷地内を散歩しながら木々や花々に四季を感じることができる。また、買い物同行や行事参加など、日常的に外出支援を行っている。	

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力で少額のお金を持参されている方もある。管理できない方は事業所が管理し個人別に出納帳を準備し希望する品物が買えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎月、家族へひまわり便りで近況報告を郵送している。又、必要時は家族を含め何時でも電話ができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節の花を飾り又、利用者と一緒に作成した作品も飾り季節感が味わえるような雰囲気作りに努めている。居室や廊下などの照明も調整できるようになっている。</p>	<p>共用空間のリビングは道路に面しており、子ども達の通学風景が見られる。廊下には手すりをつけられ、自立歩行の配慮がされている。また、床はクッションがきいたフローリングになっており、転倒の際の安全対策がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関ホールや廊下にソファを置きくつろげる場になって利用者通し談話されている。又、食堂や居室でテレビや新聞も自由に見れるようになっている。</p>		

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には思い出のある写真や馴染みの物を持ちこめるようにし安心して過ごせるようにしている。</p>	<p>テレビ、仏壇、ソファ、趣味の道具など使い慣れたものや好みのものが持ち込まれ居心地良く過ごせるように配慮されている。携帯を使用する利用者もあり、プライバシーにも配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室から食堂やトイレはわかりやすい動線になっている。状態が変化した時はその都度、職員間で話し合い不安を与えないようにしている。</p>		



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームサンひまわり 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない